

2022年度 第7回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時：2023年 2月10日（金）13:00 ~ 16:56

会 場：日本代協 会議室

出席者：全理事数 18名、出席理事数 18名、出席監事数 2名（白石監事、津田監事）

リアル出席：18名の全理事、津田監事、WEB出席：白石監事はWEB出席

会長 小田島 綾子氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第33条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

会長挨拶骨子

・損保大学課程コンサルティングコースの受講申込は 2/10 が締め切り日、各地での勤奨活動の熱を感じている。特に最終コーナーに入ったこの 1 週間は石川委員長を筆頭に、地域担当理事、各会長・委員の方々が、全ブロック・全代協の目標達成に一丸となって取り組んでいることに改めて感謝申し上げる。

・1/5、仕事始めて損保協会主催の毎年恒例の賀詞交歓会（経団連ホール）に参加させていただいた。金融庁の三浦保険課長はじめ保険会社各社の社長・役員の方々や歴代の保険課長や業界団体の代表者に挨拶することができ、今後の支援・指導をご依頼した。

・金澤専務に同道いただき、各代協の新年行事やブロック協議会にも参加させていただいた。各会長の年頭所感では各会員への温かい想いに感銘を受け、委員の方々の発表では、地域特性のある活動内容、好取組や活動の障壁となっていることなどを確認でき、とても有意義であった。理事の方々も各地の行事に参加され、保険会社等の業界関係者、行政の方々、関連事業者の方々との交流を通して、新たな地域貢献を肌で感じられたと考えている。

・特に共有したいこと

1/27、京都代協の60周年記念行事が盛大に開催された。60年の歴史と伝統を引き継いだ現在の会員が「これからの未来を切り拓く希望と情熱」を先輩方、行政、業界関係者等大勢の方に示す盛大な内容であった。特に若手会員の活躍が輝いて見えた。約1年前から準備を始めたとのことで、小橋理事から「『代協活動ばかり』と言われようとかまうことなく、節目となる周年行事ゆえ準備には妥協せず、完全燃焼で臨もう。」とエールが送られ、それを成し遂げた結果であったと感じた。その声掛けはプレッシャーではあったろうが、発想力・行動力・協力の輪となり、会の大成功と出席者の感動を呼び起こしたと考える。今回の企画・準備を通して、代協の価値が広められ、若手の育成や活動の推進力強化につながることを確信した。我々の役割は代協活動を通じ、さらに多くのリーダーをつくることと決意を新たにしたい。京都代協の皆さまに改めて感謝申し上げます。

< 前回理事会以降の業務報告 >

・12/14 保毎取材受け（記事掲載は 1/26）、年頭所感収録、鈴木馨祐衆議院議員との懇親、・12/16 南東北 B 協議会、・12/21 九州北 B 協議会（Web 参加）、・12/22-23 北陸 B 協議会・人材育成セミナー、・12/22 大阪ライブステーション（Web 参加）、・1/4 損保社役員ご挨拶、・1/5 業界賀詞交歓会、・1/15 東京賀詞交歓会、・1/19 埼玉県代協新春の集い、・1/20 北海道 B 協議会、・1/24 正副会長打ち合わせ、・1/27 京都代協 60 周年記念行事

本日の理事会は次年度の事業計画について審議する。事前に意見収集や打ち合わせを重ねているが、闊達な論議をお願いする。

〔決議事項〕

1. 第 39 次 PIAS (太平洋保険学校) の中止と本企画の一旦終了

- ・事務局より、第 39 次 PIAS の中止と本企画の一旦終了について説明があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・2023 年度第 39 次 PIAS (太平洋保険学校) は中止する。
- ・PIAS (太平洋保険学校) 企画については、一旦終了する。

【主な説明】

- ・コロナ感染が収束しないこと、および円安、物価高の影響による渡航費用の高騰から企画が難しい状況にある。
- ・本事業創設時より、旅行手配・添乗等を委託していたケイライントラベル(株)が団体旅行マーケットから撤退することとなった。
- ・過去の参加者は、企業代理店(含む年間表彰者)及び大型専属代理店の方が多かった。
- ・将来、同種の企画の要望が多く寄せられる場合は、その時点で改めて実施を検討する。

〔資料 審 1.〕太平洋保険学校 (PIAS) の中止について (P.1-2)

2. 2023 年度日本代協コンベンションの内容について

- ・事務局より、2023 年度日本代協コンベンションの内容の改定に関する方向性について提案があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・コンベンションにおける「会員懇談会」の現行形式の変更を前提に、代替となる企画をコンベンション PT で検討し、改めて理事会に諮る。
- ・質問の受付と回答については、後日、文書回答を行う形式で継続する。

【主な説明、意見】

- ・アンケート分析では、「続けてほしい」が 72.7% (前年対比 2.6%) あるも、個別意見では「もっと時間を割いてほしい。」「質問は各代協 1 問としてほしい。」「回答が腹落ちしなかった。」「質問と回答の読み上げだけでは時間の無駄、事前配布でポイントのみ説明など工夫が必要。」「人数が多く発言しづらい。」など様々あり、運営方法の工夫が必要である。
- ・1 時間等と時間に制限がある中で、より多くの質問に回答するとなると紋切り型の答弁にならざるを得ず、会員にとって有益な懇談になっていると考えづらい。
- ・代わりに理事や各代協会長等をパネラーとしてディスカッションを行い、代協の魅力とは何か、将来の代協の姿はどうあるべきか等のテーマについて意見交換を行うことも一案である。
- ・パネルディスカッションは登壇者選考などハードルもあるため、グループディスカッションの方が有意義ではないか。
- ・アンケート結果では 7 割強の方が継続を希望されており、質問受付を取りやめることは好ましくないと考えるため、受付は継続し、後日、文書による回答を行う形式としたい。また提出先は地域担当理事あてとし、質問内容のスクリーニングを行う形で継続していきたい。

〔資料 審 2.〕コンベンション式典内容について (P.3-4)

3. 2023 年 3 月開催 2022 年度臨時総会の開催形式・日程・運営・付議事項等の審議

- ・事務局より、資料に基づき、2023 年 3 月開催の 2022 年度臨時総会(1)開催形式・日程、(2)総会

運営、(3)付議事項について提案があり、項目ごとに審議採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

(1)開催形式と日程

開催形式は「リアル集合形式の総会」とする。

開催日 2023年3月10日(金)

会場 損保会館2F大会議室(東京都千代田区神田淡路町2-9)

日程 10:00~ 臨時総会

(12:45~13:45 政治連盟通常代議員会)

14:00~18:00 全国会長懇談会

(15:00~15:45 は拡大経営品質向上委員会

16:00~18:00 は金融庁監督局保険課長との意見交換会)

18:15~19:30 情報交換会

(2)総会運営

総会議長候補者(1名)、議事録署名人(2名)の選出

・議長候補者 新谷 香代子 氏(大阪代協会長)

・議事録署名人 田中 拓 氏(鹿児島県代協会長)、宮下 香津恵 氏(山口県代協会長)

(3)2022年度臨時総会付議事項

第1号議案 2023年度(第60期)事業計画案承認の件

第2号議案 2023年度(第60期)正会員会費額案承認の件

第3号議案 2023年度(第60期)収支予算案承認の件

第4号議案 定款変更案承認の件(総会資料の電子提供を可能とする条文の追加)

・ ついで(4)付議事項の審議について、会長および事務局より、第1号議案から第3号議案の提案があり、審議採決の結果、第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案については提案内容どおりに、臨時総会に付議することが全会一致で承認された。

【決定したこと】

(4)2022年度 臨時総会付議事項審議

第1号議案 2023年度(第60期)事業計画案承認の件

.事業計画のポイント

.代理店・募集人の資質向上

.公正な市場環境の構築・代理店価値向上策の推進

.実効性あるCSR活動の展開

.組織力の強化

.活力ある代理店制度の構築

.広報活動の展開

.代協会員の経営支援・情報の提供

.コンベンション

.法人運営

【主な説明】

・改定・新規部分に黄色、提言反映部分に空色に表示した。

【決定したこと】

(4)2022 年度 臨時総会付議事項審議

第 2 号議案 2023 年度(第 60 期) 正会員会費額案承認の件

- ・年額として、当年度の 12 月末日における社員（日本代協正会員）を構成する加盟代理店の数 1 店につき 1 万円として計算した額とする。
- ・入会金は零円とする。

第 3 号議案 2023 年度(第 60 期)収支予算案承認の件

- ・財務委員会からの提案が承認された。

【主な説明】

- ・59,650 千円の赤字予算。(含む:移転に伴う単年度経費 14,400 千円、減価償却 3,000 千円/年)
- ・収入の部：正会員会費はトレンドを反映、特別会員・賛助会員費は現状と同額で、
2023 年度のコンサルティングコースセミナーは Web 開催とし、受講申込者数 1,300 名で組み立て、第 12 回コンベンションはリアル開催など事業計画案に合わせて設定
- ・支出の部：事務局欠員補充、人材育成研修は繰延開催が多かった昨年との比較で 4 回減少、
コンベンションはリアル集合形式で懇親会実施、会議はリアル・WEB 活用で組立て
組織対策費ほぼ同額（各代協事務局強化、表彰・経営支援施策・ツール制作提供等）
事業対策費減（PR 企画予算半減）など事業計画案に合わせて設定
- ・20 年ぶりの本部事務局の移転となる。
ビル建て替えのため取り壊しとなることから「現状復旧費用」の請求はないが、移転に関する
単年度経費（通信費、印刷費・事務器費・消耗品費・雑費）で 14,400 千円、移転先内装工事
[含む NURO, PBX 配線]・什器備品関係で 3,000 千円の減価償却額を見込む。

【決定したこと】

(4)2022 年度 臨時総会付議事項審議

第 4 号議案 定款変更_総会資料の電子提供を可能とする条文の追加の件

- ・「総会の種類及び招集」を定めている定款第 16 条に第 16 条の 2 を追加する。
- ・＜総会資料の電子提供措置＞
第 16 条の 2 本会は、総会の招集に関し、法第 47 条の 2 各号に掲げる資料の内容である
情報について、電子提供措置をとるものとする。

【主な説明】

- ・2019 年 12 月 4 日、国会において「会社法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」が成立し、法人法もその一部が改正された。法人法においても「社員総会資料の電子提供制度」が新設され、2022 年 9 月 1 日から施行されている。
- ・一般社団法人の社員総会における資料（社員総会参考書類等）の内容に関する情報を法人の Web サイトに掲載し、「正会員」に対し、その Web サイトのアドレス等を書面により通知することによって、社員の個別・事前の承諾を得ることなく、社員総会資料を提供することがで

きるという制度である。紙資材費、印刷費、郵送費などのコストダウン、発送作業の省力化等につながるなどのメリットがある。

但し、招集通知の発出については法令に触れないよう注意が必要である。

[法人法 47 条 4]:本制度を利用している場合でも招集通知は紙媒体で送付する必要がある。

本制度を利用する場合の招集通知の記載内容は以下のとおり、

- ・ 総会の日時及び場所、・ 総会の目的事項
- ・ 書面による議決権行使や電磁的方法による議決権行使を認めているときはその旨
- ・ 電子提供措置を利用している旨
- ・ 電子提供措置によって情報が掲載されている Web サイトの URL 等

・ 注意事項

*招集通知を電磁的方法で発出するには、正会員から事前の承諾を取り付ける必要があるため、実務上は以下の 1.か 2.となる。

1.「招集通知」「参考資料・議決権行使書類」を別様に作成し、招集通知(総会の日時・場所、目的事項、書面による議決権行使を認める旨、電子提供措置を利用している旨、情報掲載 Web サイト URL のみ)のみ書面で送付する。

2.「事前の承諾」を取りつけたうえで、招集通知も電磁的方法で発出する。

*総会の特別決議ののち、2 週間以内に定款の変更登記が必要。

*総会の日の 3 週間前の日または総会招集通知を発した日のいずれか早い日から、総会の日の後 3 ヶ月を経過する日までの間、自社 Web サイトに掲載するなど、正会員が情報にアクセスできる状態にしておくことが必要。また、総会の日の 2 週間前までに、掲載した Web サイトの URL などを記載した招集通知を正会員に発送しなければならない。

*[法人法 47 条の 5]書面での資料の交付を請求することができる。デジタルデバイト対応として、書面交付の請求があった場合は、法人は応じなければならない。

*定款変更と登記が完了した後は、本制度を利用せずに書面で総会資料を提供することはできない。[法人法 47 条の 3 第 1 項]

・ その他

上場会社は電子提供制度の利用が義務付けられることになったが、一般社団法人では制度の導入は義務付けではなく、各法人の判断による。

[資料 審 4.] 定款変更案 (別冊配布 P.21)

4. 資格審査委員会の設置および資格審査委員の選任

・事務局より、理事 1 名の補欠選任のために、資格審査委員会の設置および委員の選任について提案があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

(1)資格審査委員会の設置 (委員会はWEB会議で 2023 年 5 月 8 日(金)に開催する)

(2)資格審査委員会委員の選任

廣瀬 城児 氏(東京代協)、宮下 香津恵 氏 (山口県代協)、田中 拓 氏(鹿児島県代協)

5. 理事会運営について

・事務局より、理事会運営に関する提案があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

・ 3 月以降の理事会報告から、地域担当理事と委員長理事の報告を隔回ごと交互に行う。

(担当回でない回は資料の提出は不要とし、担当回ならびに報告すべき事項がある場合のみ資料を提出する形とする。)

【主な説明と意見】

- ・前回理事会から間隔をおかず開催される理事会の資料作成に関する負担がかさんでいる実態がある。また、論議を深めるためにも隔回交互報告を試してみる価値がある。
- ・3月は各代協の「三冠王」の追い込みもあるため、地域担当理事が報告する回とし、委員長理事からの報告や情報提供は任意としてはどうか。
- ・ありがたい提案で、運営の合理化につながり、論議も深まるので試行する価値があると思う。

[資料 審5.] 理事会運営について (P.6)

〔報告事項〕

1. 事業計画の進捗状況

(1) 各代協の取組み状況報告

各代協の取組状況について地域担当理事から報告があった。

- ・1/20 実例を担当する弁護士を講師とした「災害に便乗した悪質な業者対策」のセミナーを業界連携し、開催した。NHKニュースで全道に放映され、情宣が進んだ。
- ・東北財務局の方から「日本代協アカデミー」は素晴らしい取組だと評価いただいた。
- ・安定的な法人運営に向けて、会員資格に関して再検証を進めている。
- ・いろいろなテーマでセミナー等を企画・開催し、「集い・語らい・高め合う」を実践中である。
- ・神奈川県で進捗状況や課題が確認しやすいP・Dシート(アクションシート)を試行中である。
- ・LINE グループを活用して、日々情報共有ができています。三冠王の取組項目に関しても自社の経営に織り込めるよう取組の目的や意義について共有に努めている。
- ・2/4 若手の人材育成セミナーを開催、地域担当理事、組織委員長も参加し、「集い・語らい・高め合う」を実践した。
- ・新年行事に合わせ、セミナー企画・開催を行い、交流、情報交換を実施している。監査対応・代理店賠償・サイバーリスク・ジギョケイ取得推進など各代協のニーズに合わせたセミナーを開催している。
- ・兵庫県代協はぼうさい国体での気づきを、次回開催の神奈川にも連携し、アシストする。
- ・広島・山口の代協活動に関するムードアップが特筆できる。ブロック対策費の配分基準に「参加率」も織り込むことを検討いただきたいとの意見がある。
- ・各損保社に「代協の担当者」を設置いただいたことで連携・推進がしやすい状況が構築できた。
- ・各損保社の支店長との懇談・懇親を重ね、連携・推進がしやすくなった。

(2) 三冠王獲得へ向けて

各代協の取組状況や達成見込みについて、情報交換した。

- ・2/10 時点で、1.青森(三冠王) 2.奈良(三冠王) 3.山口(ゴールド三冠王) 4.広島(プラチナ三冠王) 5.和歌山(三冠王) 6.福井(ダイヤモンド三冠王) 7.京都(三冠王) 8.大阪(ゴールド三冠王) 9.福岡(ゴールド三冠王) 10.岩手(ゴールド三冠王) 11.三重(三冠王) 12.徳島(プラチナ三冠王) 13.香川(ゴールド三冠王) 14.宮崎(三冠王) 15.沖縄(三冠王) を獲得している。

- ・福井が初のダイヤモンド三冠（6冠以上）を確定させた。
- ・各代協が意欲的に入賞やランクアップを目指してラストスパートをかけている。
- ・日本代協アカデミーでは、漸く「新システムのポータルサイト」のリリースができる見込みである。各ページの修正作業に入っているが、教育委員ならびに各代協事務局あてにまずは現状のポータルサイトを提示し、各ページの修正完了次第、直ちに全会員に公開することとしたい。
新システムの申込期間は3/1からとなっているので、既利用者はもちろん、新規利用者にも周知をお願いする。2022年度の「目指せ、三冠王！」の評価では、この新システムへの申込ID数または会員数が対象となる。（現状のニュースで表示されている現行システムの利用ID数・会員数はあくまでも参考データの位置づけとなるので、注意が必要である。）
- ・社労士診断認証制度の認証取得の件で、社労士会連合会より年度末のシステム改定に伴うシステム休止期間（3/1～3/31）の案内が届いた。認証法人の確認（閲覧）は3月も可能であるが、申請ができない状況となる。なお、最終決定した対応策は別途案内するので確認いただきたい。現状で考えられる対応策は以下のとおり、
 - 案1：3/1～3/20の間に利用できる代協専用のURLで新システムで申請を行うので、ここまでに申請を終える。
 - 案2：カウントを3/31までの申請ではなく、新システムが稼働する4月以降の4/5（水）申請分までとする。
- ・各項目の取組みの意義や本質について、改めて共有することが肝要である。

（3）その他（各委員会諮問・推進事項、「会員資格」など）

・企画環境委員会

- ・松本委員長より、資料に基づき、諮問事項に関する現状と課題、対策について説明があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・リスクマネジメント講座の受講者が増えていない。受講者増、代理店の価値向上のために3つの問題点を是正し、運用を改定する。
 - ・日本代協アカデミーの利用者のみが受講できる仕組みとしたこと
 - 料金体系の細分化による対応を検討中
 - イ.日本代協アカデミー登録利用者 75%引き
 - ロ.日本代協会員 50%引き
 - ハ.一般 割引なし
 - ・申込み方法がわかりづらいこと（日本代協アカデミーにログインした後に表示される）
 - 上記の料金区分を設定することにより、アカデミー内に限ることなく、広く情宣が可能となる。
 - ・受講時のコメントが受講者間で見れてしまうこと
 - こちらはシステム改定を要望済で、合わせて各講座も期限を区切って学習してもらうよう学習期間を定める。

〔地域別委員会別資料〕 企画環境委員会報告シート（地域別委員会別資料P.25）

・教育委員会

- ・石川委員長より、資料に基づき、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

【主な内容】

< 損保大学課程の運営・検証・改善（含む認知度向上・魅力アップ策）>

- ・コンサルティングコース受講者募集は本日 2/10 が締め切りだが、各代協での強力な取組・後押しに感謝申し上げます。現時点で 1,219 名と 840 名の目標は大きく超えており、昨年実績の 1,284 名を超えると予想している。また、全ブロックで目標を達成できており、あとは全代協が目標達成できるよう最終の督励中である。

セミナー運営上の諸課題として、Web セミナーのアテンド対応の負荷があげられるが、2023 年度に関しては Web セミナーで実施せざるを得ないと判断し、学習ガイド校正に入っているため、ご了承いただきたい。（現時点でリアルと Web を併用することはより負荷が増すことになるため）なお、事業計画案にも記載したが、2024 年度運営に関しては、次回の合同運営会議の議題にも盛り込み、論議することとなっている。Web セミナーの時間短縮化、リアルと Web の併行化などを論議したい。

< 日本代協アカデミーの展開 >

- ・1/27 に教育委員会を開催した。途中の 15 時から 90 分ほどでなく、全国一斉 Web 教育委員会を開催し、日企社による新システムに関するプロモーションや 2 月・3 月の教育委員の動き方について意見交換・情報交換を行った。取組みの本質を改めて共有するために、創設の背景やここまでの歩みについてお伝えした。目の前に示されている料金改定の問題や利用勧奨活動へのやらされ感を飛び越えて、視野を広くもって推進するために時間をかけてお伝えした。代理店経営の高度化、顧客本位の高度化に対応するため、「代協会員による代協会員の代協会員のための制度」として構築し、運営しているものであることを解説した。（詳細は教育委員会の議事録を参照いただきたい。）
- ・日本代協アカデミーの新システムに関するポータルサイトの構築に注力しているが、本日段階で全会員に開示できる状態ではない。しかし、新システムの利用申込は 3/1 ~ と間がないため、修正前のサイトを次週に教育委員・役員・各代協事務局止まりで提供しよう交渉している。新システムのイメージ動画（5 分 30 秒）や新旧機能比較等の概要を確認いただきたい。
- ・2023/2 月・3 月の動き方
利用勧奨活動のため対象別に 3 種類のちらしを作成した。
 - ・既利用 832 会員向け更新用 = 既利用会員向け新システムの募集チラシ(3/1~受付)
 - ・未利用 10,197 会員向け新規用 = 新システムの新規利用会員の募集チラシ(3/1~受付)
 - ・未利用 111 会員向け新規・更新用 = 優遇措置を享受できる募集人 100 名以上の未利用会員の募集チラシ(~2/28 までに現行システムに中途加入し、3 月に新システムに申込みする)
- ・2022 年度の「目指せ、三冠王！」の最終カウントは 3 月から申込が始まる新システムの申込 ID 数または利用会員数となるため、新システムの利用申込(3 月 1 カ月間)の勧奨が重要となる。新システムのポータルサイトが完全リリースできない状況で心苦しいが、ほどなく開示できるよう注力するので、勧奨を展開する体制の整備をお願いします。
- ・損保トータルプランナーの顔写真入りガード型認定証（ゴールドカード）の購入が漸く 2/1 からできるようになった。認定者はぜひ購入し、着用するようにしていただきたい。

https://www.sonpo-dairiten.jp/oshirase/ninteisho_20230113.html

組織委員会

- ・藤山委員長より、資料に基づき、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

【主な内容】

< 仲間づくり推進 >

- ・2/10 時点で年間入会目標達成代協は、青森、岩手、三重、福井、京都、奈良、大阪、和歌山、広島、山口、徳島、香川、福岡、宮崎、沖縄の 15 代協。西中国はブロックも目標達成。
- ・±0 以上（会員増強）キャンペーンでは、現状 21 代協が達成している。年度末まではいろいろな動きが予想されるので、情報収集・情報交換を重ねて達成を目指していただきたい。
- ・12/13 近畿ブロック、1/27 やまがた代協、1/30 愛知県代協賀詞交換会、2/4 東海ブロック若手人材育成セミナーに伺い、仲間づくりへの取組や支援のお願い～代協の歴史と代協の存在意義についてお話させていただいた。
若手セミナーに参加した方は、これまで代協活動に多くは関わっていなかった方がおられ、代協の活動や存在意義に改めて関心を寄せていただいた。代理店賠償等のセミナー企画・開催による仲間づくり推進だけでなく、このような草の根運動を展開しながら、1-1-1 運動（1 会員が 1 年に 1 会員を加入させるを推進することの重要性を認識した。また各代協の活性化、次世代のリーダー育成、退会の防止にもつながると考える。九州南ブロックや近畿ブロックで横展開を検討している状況である。

〔地域別委員会別資料〕組織委員会報告シート（地域別委員会別資料 P.28-29）

CSR委員会

- ・大城委員長より、資料に基づき、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

【主な内容】

< 防災・減災の具体的な取組の検討・推進 >

- ・各地で Web セミナーの開催が多くなっている。各地のみへの案内ではなく、極力、全国の CSR 委員長に案内いただくようにしており、参加できるようになっている。

< ぼうさいこくたい >

- ・2022 年度は兵庫県で開催され、兵庫県代協がブースを出展し、ぼうさい探検隊の取組を紹介したところ、多くの来場者から取り組みたいとの要望が上がった。ぼうさいこくたいは内閣府主催で年 1 回で全国を順に回って開催しているが、防災に関するイベントは各地で多く開催されており、アンテナを張り、コラボ可能な先をチェックしながら、CSR 委員と情報連携していたところ、熊本での横展開ができた。さらに模索を継続する。

< サイバーセキュリティセミナー >

- ・香川で開催された実際にランサム攻撃の被害に遭った病院の担当者を招いたセミナーで参加することにより、サイバー事故を自分事として捉えられるようになったとの感想を聞いた。中間監査・監事会の議事録にも、サイバーセキュリティは顕在化している重要課題であり、サイバー保険の普及推進が必要とのご意見があった。次年度は CSR 委員会でセミナー開催や情報連携に注力していく。

< ぼうさい探検隊の推進 >

- ・昨年 11/4 が締め切りだったが、締め切り後に 2023 年のぼうさい探検隊の取組要領に関する質問を多くの CSR 委員から質問があり、取組の気運が高まっていることを実感した。

取組みに関する改善課題は、最後の方に取組みが集中したことが一つ上げられる。また、入賞したマップは高度なレベルのものであり、地域の防災・安全につながるものであると感じたが、このような実効性のあるマップが作成できるよう作成・提出に終始することなく、よりレベルアップを図る必要もあると感じた。実施時期、内容ともに実効性のあるマップの作成を課題と認識して取り組む。

2023 年も取組要綱等の配布があるので、各代協の CSR 委員長に 2/24 期限内で回答をいただくことになっている。3 月の第 2 週には配付できる予定である。

〔地域別委員会別資料〕CSR 委員会報告シート（地域別委員会別資料 P.30）

・広報委員会

- ・大和委員長より、資料に基づき、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

【主な内容】

<PR 企画>

- ・1/1 に 3 本の動画（NewsTV 制作）をリリースした。また 1 月中旬にマネープラスに損保トータルプランナーに関する記事を公開している。

記事の内容：保険料比較だけで選ばないこと、有事に相談できる専門家である損保トータルプランナーを味方につけることなどを記載している。日本代協ホームページのトップページのバナーにリンクしているので確認いただき、活用いただきたい。

<全国一斉 Zoom 広報委員会>

- ・2/20 に Zoom を使って第 2 回全国一斉広報委員会を開催する。PR 企画、みなさまの保険情報に関する情報提供、グループ討議を行い、情報提供・情報交換を実施する。

〔地域別委員会別資料〕広報委員会報告シート（地域別委員会別資料 P.31）

2 . 監事会報告

- ・事務局より、資料に基づき、中間業務監査並びに監事会に関する報告があり、共有された。

【主な説明】

- ・2022 年 12 月 14 日（水）15 時～16 時 2022 年度第 1 回監事会を Web 開催した。
出席者：津田監事、白石監事、報告者：あると築地有限責任監査法人・佐藤公認会計士、南久松公認会計士、金澤専務理事、小見常務理事、工藤企画部長、坂特命部長
- ・監査法人による会計監査関連事項報告：会計処理は高い基準がキープできており、計算書類に大きな不備はなかった。今後、事務局移転やインボイス制度導入等があるため、顧問税理士を入れた事前チェックを進める。また、派遣社員からの転換で 2 名のスタッフが直雇用となるため、就業規則を改定した。
- ・業務執行理事（専務理事）による事業報告：報告資料に基づき、執行状況の報告を行った。監事より特別な指摘はなかったが、以下の意見、質疑応答を行った。
*事業が多岐に渡りすぎている。選択と集中によって「今、何が代協として重要課題か」を明確にしたうえで優先順位をつけて取り組むことが肝要と考える。
*会員減少は大きな課題である。今一度、合併・廃業以外の退会理由に着目した脱会防止の取組みが必要と考える。

〔資料 報 2.〕2022 年度第 1 回監事会_議事録（P.14-15）

3. 前回理事会（2022.12.9 開催）以降の主な業務報告

（1）2022 年度 仲間づくり推進（正会員増強運動）1 月末状況

- ・事務局より、資料に基づき、「仲間づくり推進 1 月末状況」について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・1 月末状況は、11,029 店(年度入会累計 247 店(前年 239 店)、退会累計 312 店(前年 412 店)、合計▲65 店(前年 173 店)。
- ・代申社ごとの増減は、SJ 24 店、MS 21 店、TN 19 店、日新 7 店、楽天 3 店、AIG 1 店と減店の一方で共栄+5 店、chubb・セコム+2 店、AD+1 店、大同±0 という状況。
- ・2/10 時点、14 代協が三冠王を獲得している。

ダイヤモンド 3 冠(7 冠) 福井、 プラチナ 3 冠(5 冠) 広島、徳島
ゴールド 3 冠(4 冠) 香川、山口、大阪、福岡、岩手
3 冠王(3 冠) 青森、奈良、和歌山、京都、三重、宮崎、沖縄

〔資料 報 3.〕1.仲間づくり推進（正会員増強運動）1 月末（P.16-17）
2.「目指せ、三冠王！」ニュース（P.18）

（2）日本代協アカデミーの展開

- ・事務局より、資料に基づき、日本代協アカデミーの展開状況が報告され、確認、共有された。

【主な内容】

- ・1/31 集計の利用者 ID 登録数は 832 会員、7,505 名。本年度の目標達成状況は、27.5%と低迷しているが、大阪・福岡・岩手が目標 ID 数達成、利用代理店数では広島・愛知が目標達成という状況である。

〔資料 報 4.〕日本代協アカデミー利用者 ID 数・利用代理店数 0131（P.19）

（3）損害保険大学課程

- ・事務局より、資料に基づき、コンサルティングコース受講申込状況、損害保険トータルプランナーの認定状況等について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

コンサルティングコース受講申込状況

- ・12 月 1 日～2 月 10 日までを申込受付期間としてコンサルティングコースの受講申込を受付中で、2/10 時点入金済 1,219 名と目標 840 名の 145.1%という達成率である。
代申社別では、S J がリードし、M S 社が急追している。

損害保険トータルプランナーの認定状況等

- ・2/1 より、顔写真入り認定証（カード型）の申込みが可能となった。

https://www.sonpo-dairiten.jp/oshirase/ninteisho_20230113.html

損害保険トータルプランナーの認定状況等

- ・12 月末時点

損害保険トータルプランナー	19,476 名 (+ 74 名)
認定有効者数	16,182 名 (+ 34 名)
代理店検索機能登録	4,526 店 (+ 16 店)
損害保険プランナー	73,615 名 (+ 22 名)
有効認定者数	32,749 名 (415 名)

〔資料 報5.〕コンサルティングコース受講申込状況代協別/代申社別 (P.20-21)

〔資料 報6.〕損害保険大学課程各コースの認定状況等 (P.22-24)

(4) 2022年度 活力研 実施報告

- ・事務局より、2022年度の第2回活力研の開催概要の報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・開催日時：2023年3月1日(水)15:00~18:00 日本代協会議室にて開催予定。
- ・出席予定者：あいおいニッセイ同和、損保ジャパン、東京海上日動、三井住友海上のリテール営業推進担当部長、日本代協正副会長、企画環境委員長、事務局。
- ・論議内容：
 - 「顧客本位の業務運営の原則(以下「原則」)及び「代理店の業務品質管理の高度化」という観点を中心に、あるべき代手ポイント制度について論議する。
 - 「重要な情報のわかりやすい提供(原則5)」
顧客との情報の非対称性がある保険商品をいかにわかりやすく説明するか。
そのために求められる観点として、以下2点について論議する。
 - ・高度の専門性、
・デジタルを使った情報提供
 - 「顧客にふさわしいサービスの提供(原則6)」
「金融事業者は、顧客の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを把握し、当該顧客にふさわしい金融商品・サービスの組成、販売・推奨等を行うべきである」という原則に基づき、以下2点について論議した。
 - ・リスクマネジメントの観点、
・専属と乗合とのポイント差をどう考えるか
(乗合代理店の「類型化」についても考えてみたい。)
 - 「業務品質の高度化」
代手ポイント制度における業務品質の評価ウエイトは各保険会社とも増えてきているが、業務品質の高度化、平準化(募集人毎のばらつきをなくす)を更に進めるために、今後ポイント制度に盛り込むべき評価項目があるか。

〔資料 報7.〕あるべき代手ポイント制度に関する論点整理 (P.25-26)

(5) 金融庁保険課長との意見交換会

- ・事務局より、資料に基づき、金融庁保険課長との意見交換会のリアル対面での開催について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・2023年3月10日(金)16時~18時に意見交換会をリアル形式で開催する。
 - 3回目を迎える今回は、あらかじめテーマを絞って実施する。以下のテーマに沿って、一人2~3分程度で発言いただくこととしたい。
 - ・手数料ポイント制度、代理店合併・統合、乗合承認、他チャネルとの競争上の課題
 - その他、保険会社とのコミュニケーションの中で抱えている課題について
 - ・業務品質の高度化や顧客本位の業務運営の実践に向けた取り組み、工夫している点の披露
 - ・保険会社との連携で取り組んでいる施策等の披露

・金融庁への質問事項

上記の . については、過去2回の議事録(「代協活動の現状と課題」2021年版、2022年版に収録)を確認いただき、同じ質問(代理店の規模やマーケット全体における適正代理店数の見解等)の繰り返しがないよう留意が必要である。また、金融庁への質問事項は事前に金融庁に伝えることで当日、より詳細な回答をいただくことも可能であるため、希望する質問事項については、地域担当理事経由、2月24日(金)までに事務局へ寄せていただきたい。

[資料 報 8.] 第 22-133 号金融庁との意見交換会 (P.27)

(6) 2023 年度代理店賠償の改定

- ・補償内容、保険料等の変更はない。

賠償審査会は1月24日(火)13時30分~16時にWeb開催した。

(7) 代理店経営サポートデスクの相談対応状況

- ・事務局より、資料に基づき、代理店経営サポートデスクの相談対応状況の報告があり、共有された。

[資料 報 9.] 「代理店経営サポートデスク」相談事案分類整理~事案明細 (P.28-29)

4. その他

(1) 業界最新情報

- ・業界動向など最新情報が席上で報告された。

[資料 報 10.]

1. 2023 年小田島会長年頭所感 <https://onl.sc/727P3NB>

2. 2022.12.15 損保協会長ステートメント

https://www.sonpo.or.jp/news/release/2022/ctuevu00000153k5-att/2212_04.pdf

3. 1215_金融庁_業界団体との意見交換において提起した主な論点 (P.30-40)

4. 損保協会連携_中小企業への情報提供

動画コンテンツの掲載ページ: https://www.sonpo.or.jp/sme_insurance/media/

【内容】企業へのインタビューをもとに、中小企業が直面した危機と保険による備えを紹介。

・第1回「想定外の災害」篇 : 豪雨による工場の浸水

・第2回「新規事業のリスク」篇 : 台風による太陽光パネルの被害

・第3回「サイバー攻撃」篇 : EC サイトへのサイバー攻撃

・第4回「備えておきたい」篇 : 豪雨による販売所の浸水、企業向け保険の概要紹介

〔監事講評〕

白石監事から以下の通り、監事講評があった。

本日の審議事項、報告事項ともに適正な運営がなされたものと判断する。

3点コメントさせていただく。

- ・太平洋保険学校 PIAS の開催が、コロナ感染や世界的な物価高、円安の影響で 2023 年度も引き続き中止となったこと、かつ、諸事情により 1979 年からスタートした本企画が一旦終了となることは残念で、寂しく思っている。本企画は保険の先進国であるアメリカの現状を学ぶ、あるいはアメリカに滞在し、様々な経験を通して見聞を広める最良の機会の提供であったと考えているので、今後これに替わる何らかの企画を検討していただきたい。

- ・理事会運営について、毎回実施していた地域担当理事および委員長理事の報告を基本的に隔回ごとに変更されるということは、予てより、私が推奨していた「理事会運営の合理化」につながる試みと考えられ、嬉しく感じている。隔回報告に変更されることにより、理事の方々の密の高い論議・報告の実現と活発な意見交換の時間が確保されること、加えて事務局の方々の事務労働の効率化につながることを願っている。
- ・損害保険大学課程コンサルティングコースの受講申込者が2/3時点で847名と目標の840名をすでに超えたということ、昨年度比較では106%というペースで進捗していることを喜ばしく思っている。「活力研」の資料にもあるように金融庁、損保協会の共通認識は、保険代理店がより顧客本位の業務運営を徹底することが重要であるということであり、また募集人の資質向上としての資格取得奨励制度を標ぼうされている。従って日本代協として高度な専門性の確保や分かりやすく適切な顧客への情報提供という観点から、コンサルティングコースの受講者が一層増加する取組みを進めていくことが極めて重要だと思っている。

以上

< 諸会議開催予定 >

2023年01月～2023年3月のスケジュール (案)

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2022年度	2月10日(金)	10:30～11:50	財務委員会	日本代協会議室
		13:00～17:00	第7回理事会 テーマ:臨時総会議案、通常議題	
		18:00～	損保協会役員との夕食懇談会(損保協会主催)	
	3月1日(水)	15:00～18:00	2022年度第2回「活力研」	日本代協 会議室
3月9日(木)	10:30～12:00	正副会長打合せ	日本代協 会議室	
	13:00～16:30	第8回理事会		
3月10日(金)	10:00～12:00	臨時総会	損保会館 2F(大会議室)	
	13:00～14:00	政連通常代議員会	〃	
	14:00～18:00	会長懇談会,16時～金融庁保険課長との意見交換会		
	18:10～19:30	同上懇談会	損保会館2F予定	

2023年度のスケジュール

※会議の追加もしくは下記の日程及び時間を変更することもあり得ます。2024年3月の総会は会場手配がこれからになります。***修正(赤字)**

※理事会開催日の午前中(原則0:30-12:00)は正副会長は直前の打ち合わせを行います。

総会・および会議名	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月
総会			6/16(金) 10:00-11:00			
会長懇談会			6/16(金) 13:00-18:00			9/15(金) 13:00-18:00
理事会 (正副は当日AM 打合せあり)		5/12(金) 13:00-17:00		7/14(金) 13:00-17:00		9/14(木) 13:00-17:00
正副会長会議	4/25(火) 9:00-11:00 Zoom		①6/15(木) 13:00-17:00リアル ②6/27(火) 9:00-11:00 zoom		8/29(火) 9:00-11:00 Zoom	9/26(火) 9:00-11:00 Zoom
事業計画 諮問事項打ち合わせ						
企画環境委員会	4/11(火) 13:30-17:00		6/26(月) 13:30-17:00			9/11(月) 13:30-17:00
教育委員会	4/28(金) 10-18:00		6/30(金) 10-18:00			9/1(金) 10-18:00
組織委員会	全国一斉 4/21(金) 13-17:00			7/7(金) 13-17:00		9/8(金) 13-17:00
CSR委員会	4/20(木) 13:30-17:00		6/23(金) 13:30-17:00			* 9/19(火) 13:30-17:00
広報委員会	4/6(木) 13:30-17:00		6/20(火) 13:30-17:00			9/13(水) 13:30-17:00
活力研						
7社懇						
業界紙との意見交換 会						
コンベンション						
代理店経営未来塾	4/10(月) 15:00-17:30					

総会・および会議名	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月
総会						3/8 or 15(金) 10:00-12:00
会長懇談会			12/8(金) 13:00-18:00			3/8 or 15(金) 13:00-18:00
理事会 (正副は当日AM 打合せあり)	10/13(金) 13:00-17:00		12/7(木) 13:00-17:00		2/9(金) 13:00-17:00	3/7 or 14(木) 13:00-17:00
正副会長会議		11/21(火) 9:00-11:00 Zoom		1/23(火) 9:00-11:00 Zoom		
事業計画 諮問事項打ち合わせ			12/6(水) 15:30-18:00			
企画環境委員会				1/16(火) 13:30-17:00		
教育委員会				1/26(金) 10-18:00		
組織委員会		11/8(水) 13-17:00		1/24(水) 13-17:00		
CSR委員会				1/19(金) 13:30-17:00		
広報委員会				1/23(火) 13:30-17:00		
活力研						
7社懇						
業界紙との意見交換 会						
コンベンション		11/17(金)18(土)				
代理店経営未来塾						

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、16時56分閉会した。

なお、WEB会議システムにより、出席者の音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態が保たれ、終始異状なく議案の審議を終了した。

上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2023年2月10日

議長 会 長 小 田 島 綾 子 印

議事録署名人 監 事 白 石 雅 一 印

議事録署名人 監 事 津 田 文 雄 印